

朋有小学校は、2012年度（区制80周年）に国際ナショナルセーフスクール認証を取得してから10年目となる今年度、4回目の認証を取得しました。あわせて、富士見台小学校は3度目、高南小学校・清和小学校は2度目の認証を取得しました。



国際ナショナルセーフスクール認証校の取組を活かした「安全・安心な学校づくり」を推進しています。

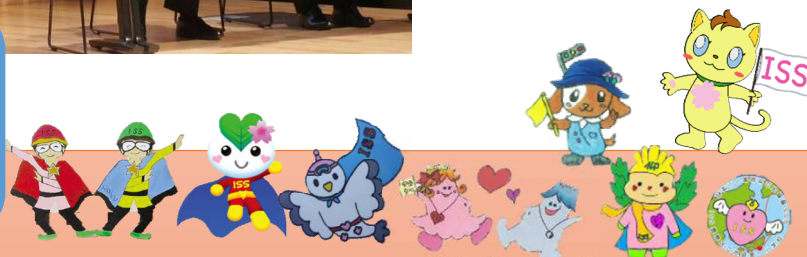
- ・清和小学校・朋有小学校・高南小学校・富士見台小学校の現地審査会・合同認証式をオンライン配信。各校で視聴。
- ・小中連携の機会を活用したISSの取組紹介
- ・保健室利用記録の入力項目の統一（来年度より運用）
- ・「ISSガイドライン」（3月発行予定）を活用した非認証校への取組拡大

2012年度
（区制施行80周年）
朋有小学校
初認証取得

2021年度
全中学校ブロック
1校以上が認証取得

2022年度
（区制施行90周年）

2012 - 2013 - 2014 - 2015 - 2016 - 2017 - 2018 - 2019 - 2020 - 2021 - 2022



現地審査会・合同認証式



合同認証式の様子



現地審査会の様子

『豊島区インターナショナルセーフスクール認証校の取組を生かした「安全・安心な学校づくり」ガイドライン』（3月発行予定）

【発行目的】

- ① 10年間の認証校の取組紹介 ② 保健室データの集計・分析方法の紹介 ③ 非認証校への取組拡大

【区民ひろば、地域との協働活動】



「安全・安心なまちづくり」パレード、地域防災訓練等、学校と地域団体が一体となった活動に取り組み、セーフコミュニティ活動の一環としてのインターナショナルセーフスクールの充実を図っています。

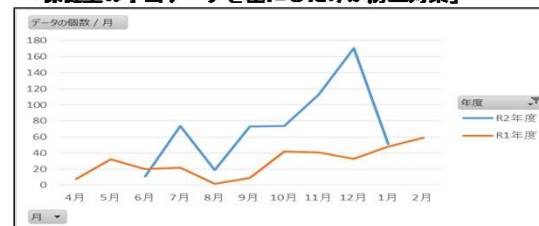
認証校の取組紹介

区民ひろばとの協働

データ活用方法

通学路安全確保

「保健室の手当データを基にしたけが防止対策」



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業明けから校庭で遊ぶ児童のけがが少しずつ増え、10月頃から急増しました。

毎週、保健室のデータを教員で共有・分析し、けがの未然防止対策について話し合い、校庭を左の写真のようにゾーン分けし、けがの防止対策を実践することで、けがの件数が減少しました。

「地域見守り隊発足式・見守り活動」



「地域見守り隊発足式」では、参加していただいた方々に、藍染めの襟をお渡ししました。1年間、子供たちの安全な登下校を見守っていただきます。

【児童・生徒・PTAによる「安全マップ作り」】

各校の実態に応じて、授業や委員会活動・PTA活動の一環として、校内や地域の「安全マップ」づくりに取り組んでいます。要注意箇所を視覚化することにより、情報の共有と安全意識の向上が図られています。

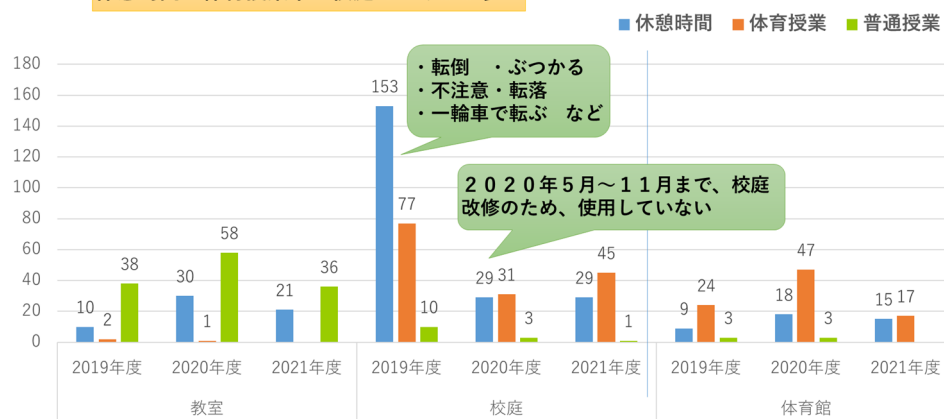


保健室データ入力項目の統一化と全区的な有効活用の推進

- ・区内全小中学校のデータを集計・分析・活用できるよう、システムの入カールールを統一
- ・区内全体の課題等を明確にし、「安全・安心な学校づくり」を推進
- ・セーフコミュニティのサーベイランス委員会との連携も図る

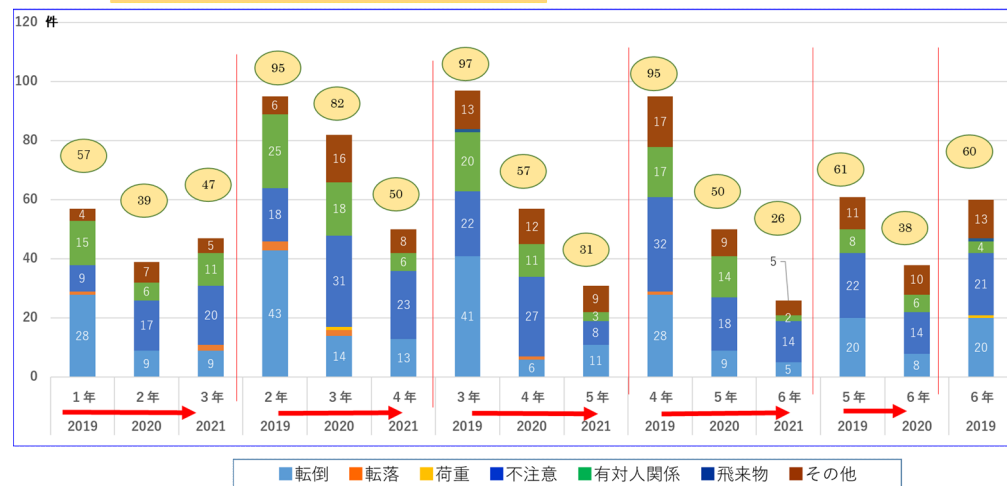
場面別・場所別けが発生データ

休憩時間・体育授業中の校庭でのけが多い



学年別・事由別けが発生データ

転倒や不注意によるけが多い



認証校は、場面・場所・学年・事由ごとにデータを整理。ハイリスクを抽出し、重点的な対策につなげることで、「安全・安心な学校づくり」を実現している。データ入力方法の統一化により、教育委員会で一括したデータ分析を行うことができ、認証校の負担を軽減するとともに、非認証校でもデータを活用した対策につなげることができる。